

## 障害児通所支援事業所における医療的ケア児の受入れに関する調査研究 家族向けアンケート

この調査は、こども家庭庁の令和7年度 子ども・子育て支援等推進調査研究事業として、障害児通所支援における医療的ケア児の受入れについて実態を把握し、今後の支援のあり方を検討することを目的としています。  
ご多用のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。  
最大 26 問（所要時間 10 分程度）です。

### ■ 調査結果の取り扱い

- ・ 回答内容は、本調査以外の目的に使用されることはありません。
- ・ 調査結果は、本事業の報告書等としてこども家庭庁ホームページ等において公表される予定ですが、個人を特定されるような公表、および個人が推測可能な形での公表は一切行いません。
- ・ 本調査により頂戴した機密情報、個人情報等を含む一切の情報は、こども家庭庁から調査を受託する株式会社 NTT データ経営研究所が厳重に管理を行います。

詳細 <https://www.nttdata-strategy.com/information/policy/>

※ご注意ください：

本アンケートは、一度に全ての設問にご回答いただく形式となっており、**途中保存はできません。**

■ 回答期限 12 月 19 日（金）

### ■ 問い合わせ先

株式会社 NTT データ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階

メールアドレス: [ikeaji\\_ukeire\\_r7@nttdata-strategy.com](mailto:ikeaji_ukeire_r7@nttdata-strategy.com) （担当：田口、梶原、山下）

---

## **I. 基本情報**

1. お住まいの都道府県をお答えください。（1 つ選ぶ）
2. あなたと医療的ケアを必要とするお子様との関係をお答えください。（1 つ選ぶ）
  - ・ 母
  - ・ 父
  - ・ きょうだい児
  - ・ 祖父
  - ・ 祖母
  - ・ その他（ ）

## **II. 医療的ケアを必要とするお子様について**

医療的ケアを必要とするお子様についてご回答ください。

3. お子様の年齢をお答えください。（1 つ選ぶ）  
0 歳 / 1 歳 / 2 歳 / 3 歳 / 4 歳 / 5 歳 / 6 歳 / 7 歳 / 8 歳 / 9 歳 / 10 歳 / 11 歳  
12 歳 / 13 歳 / 14 歳 / 15 歳 / 16 歳 / 17 歳 / 18 歳 / 19 歳
4. お子様が医療的ケアを開始した年齢をお答えください（1 つ選ぶ）  
0 歳 / 1 歳 / 2 歳 / 3 歳 / 4 歳 / 5 歳 / 6 歳 / 7 歳 / 8 歳 / 9 歳 / 10 歳 / 11 歳  
12 歳 / 13 歳 / 14 歳 / 15 歳 / 16 歳 / 17 歳 / 18 歳 / 19 歳
5. お子様が保有している手帳をお答えください。（いくつでも）
  - ・ 身体障害者手帳
  - ・ 療育手帳
  - ・ 精神障害者保健福祉手帳
  - ・ 保持していない
6. 重症心身障害児の認定を受けていますか。（1 つ選ぶ）
  - ・ 受けている
  - ・ 受けていない
  - ・ 申請中
7. お子様に必要な医療的ケアをお答えください。（いくつでも）
  - ・ 人工呼吸器（排痰補助装置等を含む）の管理
  - ・ 気管切開部の管理

- ・ 鼻咽頭エアウェイの管理
- ・ 酸素療法
- ・ 吸引（口鼻腔、気管内吸引）
- ・ 吸入（ネブライザー使用を含む）
- ・ 経管栄養（胃ろう、腸ろう、経鼻経管等）
- ・ 中心静脈カテーテルの管理
- ・ 皮下注射（インスリン注射等）
- ・ 血糖測定
- ・ 継続的な透析
- ・ 導尿（尿道留置カテーテル、尿路ストーマ等を含む）
- ・ 排便管理（消化管ストーマ、摘便等を含む）
- ・ けいれん時の座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
- ・ その他（ ）

8. 医療的ケアを必要とするお子様と同居しているご家族をすべて選んでください。（何人でも）

- ・ 母
- ・ 父
- ・ きょうだい児→（ ）人※本人は除く
- ・ 祖父
- ・ 祖母
- ・ その他（ ）

9. 日常家庭で医療的ケアを中心的に行っている方を教えてください。（お一人）

※お子様から見た関係でお答えください。

- ・ 母
- ・ 父
- ・ きょうだい児
- ・ 祖父
- ・ 祖母
- ・ その他（ ）

10. 「日常家庭で医療的ケアを中心的に行っている方」の働き方をお答えください。（1つ選ぶ）

- ・ 週5日（基本的に土日休み）
- ・ 週5日（土日出勤する場合がある）
- ・ 週4日以下（基本的に土日休み）
- ・ 週4日以下（土日出勤する場合がある）
- ・ 育児休業中
- ・ 介護休業中
- ・ 働いていない
- ・ その他（ ）

11. 介護休業制度（介護休業・介護休暇）の利用状況について教えてください。（1つ選ぶ）

- ・ 介護休業制度（介護休業・介護休暇）を利用している
- ・ 利用したことがある
- ・ 利用したことはない

12. 「日常家庭で医療的ケアを中心的に行っている方」が頼りにできる方をお答えください。（最大 3 人まで）

※お子様から見た関係でお答えください。

- ・ 母
- ・ 父
- ・ きょうだい児
- ・ 祖父
- ・ 祖母
- ・ 保育所等や学校の先生
- ・ 通所支援事業所の支援者
- ・ 訪問看護等の支援者
- ・ かかりつけ医・主治医
- ・ 特にいない
- ・ その他（ ）

13. お子様は、放課後等デイサービスを利用されていますか。

- ・ はい
- ・ いいえ
- ・ 検討中

14. 放課後等デイサービスを利用しない平日の放課後に、学校から帰宅後、本調査の対象となるお子様と最も

長い時間を過ごしている方をお答えください。（平均的な傾向をお答えください。）

- ・ 母
- ・ 父
- ・ 祖父
- ・ 祖母
- ・ きょうだい児
- ・ 放課後児童クラブの支援員
- ・ 訪問看護や訪問リハビリテーションの支援員
- ・ その他（ ）

15. お子様は現在利用している障害児通所支援事業所の数をお答えください。（1 つ選ぶ）

- ・ 1 か所
- ・ 2 か所
- ・ 3 か所以上

## 「2 か所」または「3 か所以上」を選んだ場合

16. 複数事業所を利用している理由は何ですか。（いくつでも）

- ・ 1ヶ所では利用できない日があるから
- ・ それぞれの事業所で受けられる支援が異なるから
- ・ 今後事業所の変更・移行を検討しているから
- ・ その他（ ）

### III. サービスの利用について

お子様が現在利用している障害児通所支援事業所（以下、事業所）についてお答えください。

17. 事業所を利用している理由をお答えください。（いくつでも）

- ・ お子様の発達支援のため
- ・ 子育ての協力・サポートのため
- ・ 就労のため
- ・ 知人にすすめられたから
- ・ 病院受診や診察の際にすすめられたから
- ・ 訪問診療等の際にすすめられたから
- ・ （市町村等の）健診の際にすすめられたから
- ・ 役所にすすめられたから
- ・ 医療的ケア児支援センター、医療的ケア児等コーディネーターにすすめられたから
- ・ 保育所等や学校の先生にすすめられたから
- ・ 親の会・当事者団体からすすめられたから
- ・ その他（ ）

18. 利用を検討するにあたって、事業所に関する情報をどこから得ましたか。（いくつでも）

- ・ 主治医・病院から情報を得た
- ・ 訪問看護師から情報を得た
- ・ 自治体（保健センター・障害福祉窓口等）から情報を得た
- ・ 保育所等や学校から情報を得た
- ・ 医療的ケア児支援センター、医療的ケア児等コーディネーターから情報を得た
- ・ 障害児相談支援事業所の相談支援専門員から情報を得た
- ・ SNS・インターネット（Instagram・X・Web 検索等）から情報を得た
- ・ 知人から情報を得た
- ・ 親の会・当事者団体から情報を得た
- ・ その他（ ）

19. 事業所を選ぶ際に重視したことを教えてください。（いくつでも）

- ・ こども達が楽しそうに過ごしている
- ・ 家族や本人に寄り添った支援が期待できた
- ・ 家族が大切にする考えや手技等を理解してもらえることが期待できた
- ・ 相談をした際の印象が良かった
- ・ 研修を受けた福祉職が一部の医療的ケアを担う体制を整えている
- ・ 主治医や訪問看護師と常時連携できる体制を整えている
- ・ リハビリや運動などの活動プログラムを積極的に実施している
- ・ 外出や社会体験など地域とつながる活動を行っている
- ・ お子様の将来を見据えた支援を行っている（成人移行や就労に関する支援等）
- ・ こどもの発達段階に応じた支援を重視している
- ・ SNS（Instagram・X 等）やホームページで活動を積極的に発信している
- ・ 面談や連絡帳など密に連絡を取る体制がある
- ・ 自宅や職場からの距離が近い・通いやすい
- ・ 利用できる時間帯や日数が合致した
- ・ 送迎サービスを行っている
- ・ 入浴サービスを行っている
- ・ 延長支援を行っている
- ・ 欠席・振替など柔軟に対応している
- ・ 親子通園を行っている
- ・ 保護者向けの交流会や研修会などが充実している
- ・ 知人が通所している
- ・ 設備が整っている
- ・ その他（ ）

20. 実際にサービスを利用するにあたり、どのような調整をしましたか。（いくつでも）

- ・ 複数事業所に利用可能かを確認した
- ・ 相談支援専門員に事業所探しを依頼した
- ・ 自治体にサービスの利用について相談した
- ・ 主治医等にサービス利用の為の書類作成を依頼した
- ・ 病院のソーシャルワーカーに相談した
- ・ 医療的ケア児支援センター、医療的ケア児等コーディネーターに相談した
- ・ 事業所見学や体験利用を行った
- ・ 家庭内で送迎や付き添いの調整を行った
- ・ 家族の働き方を調整した（転職・離職を含む）
- ・ きょうだい児の預け先を調整した
- ・ 緊急時の対応について調整を行った
- ・ その他（ ）
- ・ 特になし

#### IV. 現在利用している事業所について

21. 現在利用している事業所はどの程度利用しやすいと感じますか。（1 つ選ぶ）

- ・ とても利用しやすい
- ・ やや利用しやすい
- ・ どちらともいえない
- ・ やや利用しにくい
- ・ とても利用しにくい

22. 事業所を利用してよかったことを教えてください。（いくつでも）

- ・ お子様が楽しそうである
- ・ お子様の居場所ができた
- ・ お子様の興味や関心等が広がった
- ・ 今後の発達や就労を含む将来の見通しが持てた
- ・ 家族に余裕ができた
- ・ お子様との関わり方に選択肢が増えた
- ・ お子様とのコミュニケーションが円滑になった
- ・ 家族が就労することにつながった
- ・ 家族の大切にしていること、医療的ケアの方針等が尊重されている
- ・ 家族と職員とが十分に話し合う機会・時間が設けられている
- ・ 相談できる場所ができた
- ・ 医療的ケアの手技が信頼できる
- ・ 活動内容が豊富である
- ・ 送迎サービスがある
- ・ 入浴サービスがある
- ・ 緊急時の対応等、安全管理がしっかりしている
- ・ 職員の対応が丁寧である
- ・ 医療職の配置が手厚い
- ・ 福祉職の配置が手厚い
- ・ 災害対策が十分である
- ・ 親の会等、保護者同士の交流が持てる
- ・ その他（ ）
- ・ 特になし



## V. 子育てにおける困りごとと相談環境

23. お子様のことで悩んだり不安に感じたりしたとき、どなたに相談していますか。（いくつでも）

- ・ 配偶者
- ・ きょうだい児
- ・ その他の同居している家族
- ・ 自身の親
- ・ 親族
- ・ 友人、知人
- ・ 病院・診療所（医師・看護師・MSW 等）
- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 医療的ケア児支援センター、医療的ケア児等コーディネーター
- ・ 利用している障害児通所支援事業所
- ・ 相談支援事業所
- ・ 保育所や学校等
- ・ 行政の相談窓口
- ・ 家族会等
- ・ SNS やオンラインコミュニティ
- ・ その他（ ）
- ・ 特に相談できる人・場所はない

「特に相談できる人・場所はない」を選んだ場合のみ

24. 相談できる人・場所がない理由について教えてください。（いくつでも）

- ・ 適切な相談先がわからない
- ・ 相談できる人や場所が身近にない
- ・ 相談することに抵抗がある
- ・ 相談する時間や経済的な余裕がない
- ・ 相談したいことが説明できない
- ・ 取り立てて相談するほどではないと考えている
- ・ その他（ ）

25. 子育てに関する不安等について、現在利用している事業所や相談支援事業所に相談できる内容はあります

か。（いくつでも）

- ・ こどもの発達、生活習慣
- ・ こどもとのコミュニケーション、遊び方
- ・ 利用している事業所での過ごし方
- ・ こどもの将来の進路等
- ・ 医療や福祉サービスの制度や利用等
- ・ 経済面について

- ・ きょうだい児について
- ・ 家庭内での育児等について
- ・ 自身の心身の健康等について
- ・ 夫婦や家族との関係について
- ・ 周囲の理解や人間関係について
- ・ 防災対策、災害に関すること
- ・ その他（ ）
- ・ 特になし
- ・ 回答したくない

26. 相談しやすいと思う窓口を教えてください。

- ・ 電話やオンラインの相談窓口
- ・ 匿名で相談できる仕組み（チャットやメール等）
- ・ 専門家との面談機会
- ・ 同じ悩みを持つ保護者同士の交流の場（親の会やオンラインコミュニティ）
- ・ 情報がまとまったウェブサイトやアプリ
- ・ 定期的な相談の機会や訪問
- ・ 事業所との連絡帳等、日常的な連絡の機会
- ・ いつでも気軽に相談できる時間や場所（夜間対応、託児付き等）
- ・ 育児の仕方やお子様との遊び方について等の勉強会や研修
- ・ その他（ ）
- ・ 特になし